# THE DAY

## NEWS LETTER

*November 1st, 2026　Noboru Morishige*

YouTube 森繁昇チャンネル

**友達、親戚、家族、兄弟姉妹、これを読んでくださる皆さん　　2026年 11 月1日**

皆さんが元気にしておられることを、心から願っています。今日も希望のメッセージです。永遠の命の希望のメッセージです。

### 最近あったこと　Love your enemy

私が小学 5 年生から住んでいた町、下松市。（今も私の兄と姉、そして彼らの家族も住んでいるところ、で、私もそこを拠点としています。）

その町にはかなり昔？から大きな 100 円ショップ、ダイソーがあります。

大きな駐車場はウィークデイでもいっぱいですが、ウィークエンドになれば交通整理の人が出るほどの店！ 大繁盛！

夏の旅が終わったとき、お土産？を買いにそこに行きました（ダイソーにあるん？ 笑）。それらを買った後で私は、帽子を見ていました。野球帽のような帽子です。私は何年か前からそんな帽子をかぶるようになりました。自分の思いですが、帽子をかぶるとチョット自分が、元気で、活発で、ちょっと若く？感じるみたいで、笑。白髪が見えないからでしょうか？もっと笑。最近は、帽子をかぶらないと、なんか下着の一つをつけてないような、ガッハー！変ですね……。

帽子が陳列されている棚の一番上のほうに薄紫の小さな帽子があって、その帽子の前のところに書いてある字が、ちょっと見えました。英語でした。何て？ 私に見えたのは「Love your・・」の、２つだけで、それは一つの単語ごとに、上から下に並べて書いてあったのです。その下の方は見えなかったのですが、私の心は、その二つの言葉の次の単語をすでに言っていました。「ワーーーッ!! スゴイ!! 日本でもそう言うようになったんやーー！」私がその二つの英語を口に出せば、次に出てくる言葉は間違いない！ 明確です！ それは "enemy" です！「あなたは、あなたの敵を愛しなさい」イエスが言われたことばです。

「絶対買う !!」その帽子は一番上の棚にあった



ので、私はつま先立ちでようやくその帽子を取りおろし、ワクワクしながら、見えてなかったその言葉を見ました。「ちゃうわ〜！」でも、ショックではありませんでした。その 3 つ目の言葉は、なんと！「s・e・l・f」Love your self.「あなたは、自分自身を愛しなさい」やられた〜〜〜。ガッハーー！

「**信仰**（イエスを知ること）**は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。**」

（ローマ人への手紙 10：17）

**その典型の一つが、今日の聖書の箇所**
**想像力**

これから書くことが聖書に書かれたのは、今からだいたい 2000 年位前で、今の日本の生活、経済、政治、一般社会とは大きく異なっていたに違いありません。しかし、人の心の中、いわゆる「魂は、いつの時代も変わらない」という私の確信のもとに、私は、これが書かれた時の状況と、ここに書かれてある盲人のことをできるだけ想像してみたいのです。想像には限りがありますが、できる限り想像してみてください。
それでは、

**「盲人の乞食とイエス」**（マルコ 10:46 〜 52）

**彼らはエリコに来た。イエスが、弟子たちや多くの群衆といっしょにエリコを出られると、テマイの子のバルテマイという盲人の物ごいが、道ばたにすわっていた。**

**ところが、ナザレのイエスだと聞くと、「ダビデの子のイエスさま。私をあわれんでください」と叫び始めた。**

**そこで、彼を黙らせようと、大ぜいでたしなめたが、彼はますます、「ダビデの子よ。私をあわれんでください」と叫び立てた。**

**すると、イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。そこで、彼らはその盲人を呼び、「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたをお呼びになっている」と言った。**

**すると、盲人は上着を脱ぎ捨て、すぐ立ち上がって、イエスのところに来た。**

**そこでイエスは、さらにこう言われた。「わたしに何をしてほしいのか。」すると、盲人は言った。「先生。目が見えるようになることです。」**

**するとイエスは、彼に言われた。「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」すると、すぐさま彼は見えるようになり、イエスの行かれる所について行った。**

最初から、少しずつ想像してみましょう。私の想像する箇所を少しずつ書いてみます。
@ イエスと弟子たち（彼ら）はエリコに来て、すぐエリコを出た ?? えーーっ！ 絶対すぐ出たんじゃないですよね。来てすぐ出るなんて変！ おそらくしばらく滞在して、１章から９章までに書いてあるようないろんな奇跡をされて、それから出たんですよ、きっと。エリコに来た時は、イエスは弟子たちとエリコに来たとあって、出た時は、多くの群衆と一緒に出て行ったのです。おそらく、エリコでイエスがおこなった多くの奇跡（いろんな病気の癒やしや、悪霊を追い出したり、その他人間にはできない奇跡の業）をして、イエスが神の救い主だと知った人たちや、イエスをもっと知りたい人たちがイエスについて行っていたのでしょうね。その大勢を想像します。
@ エリコを出たら、（すぐの所？）に、盲人の乞食のバルテマイが道端に座っていたのです。目が見えない！ 私は、以前「目が見えないことがどんな状態か考えてみてください」と言われたことがあって、目をつむって自分の家の中をしばらく歩いてみたことがありますが、真っ暗です。自分の家なのに、動くとすぐに何かにつまずいたり、物にぶつかったりして、何をしようとしてもめっちゃ時間がかかり、ほとんど何もできない状況。全てが手さぐり。これで一生を進む？ 考えられない！ そのバルテマイは乞食!! ほとんど風呂も

入れず、着替えもできず、ほこりと泥だらけの顔はどす黒く、口やあご、頬の周りは、人からもらって食べたものがヒゲにもべっとりからみ合って、ハエが集まる。小便も大便ももちろんちゃんとできず、着ている服にもそれはつき、遠くからでもその臭い匂いが匂う。はだしの足は、泥まみれでひび割れ、真っ暗な世の中で、ひとりかがみ込み、座っている。その姿は、惨めと、あわれと、悲しみの、まさに、這い上がれない泥沼。

@ しかし、バルテマイの耳は、エリコを出入りする人々の声をしっかり聞いていました。エリコに来たイエスが、町で、人々に何をしたか、何を話したかを、イエスのうわさ話？ いいえ、イエスが何をしたかを、「はっきり！」聞いていたのです。ここで、あの言葉です。「イエスが誰であるかを知ることは（信仰）は聞くことから。イエスについてのことばを聞くことから」そのことが彼に起こっていたのです。地べたに座った彼の前を通ってエリコに出入りする人々から聞こえてくる言葉で、イエスが、昔から神の言葉（旧約聖書）で聞いていた「神の救い主・キリストだ」とバルテマイは分かったのです。

@ そして彼は、人々が、イエスは「ナザレのイエス」だと言ってるのを聞いたのです。えーーっ！ そのことも長い間、聖書の言葉から聞いていて彼は知っていたのです。何を？ 救い主はナザレ人と呼ばれることを、そして、ダビデの家系からでることを。彼は分かったのです。そして、今、イエスが町を出て行ったら、もう二度とイエスに会えないかも、これがイエスに会う最後のチャンスかも。それで彼は叫んだのです。「ダビデの子の救い主イエス様!! 私をあわれんでください!!」と。

@ するとなんと、周りの人が大ぜいで！ エーーッ！ 大勢で？ たまげた！「うるせーなー！ 静かにしろ！ お前ー！ 臭いよ！ イエス様が通るんだ！ お前邪魔だよ！」大勢で、彼を黙らせようとして、いじめたのです！ えーーーっ！ しかし、私は想像するのです。俺も、昔、そんな時、バルテマイのそばに居合わせた群衆の一人だったら、群衆と同じように、バルテマイを嫌がる気持ちにならなかっただろうか？ そんな気持ちになったかもな。俺って優しくなかったな〜。

@ それでも、バルテマイは、ますます叫び続けたのです。なぜ？ 彼は、イエスが神の救い主だと知ったからです。そして、何としてでもイエスに会いたかったからです。叫び続ければ、いつ、誰からか、どっちの方向からでも、石を投げられ、頭を叩かれ、殴られ、蹴られても、唾を吐きかけられても、わからない。彼にはそれがわかっています。それが臭くて汚い盲人のこじきです。しかし、それでも、彼は叫んだのです。群衆の彼に対するどのような仕打ちも、彼のイエスに対する信仰を砕くことはできないのです。

@ このバルテマイが、イエスを知らなかった時の私です。そして、このレターを読んでくださっている方々でイエスをまだ知らない方が、この盲人のこじき、バルテマイなのです。自分の必要と問題を認め、そばを通られるイエスに叫ぶのです。「神の救い主・イエス様、私をあわれんでください！」と。

@ すると、イエスが、イエスだけが、嫌がらないで、「あの人を呼んできなさい」と。群衆はたまげたのでしょうか？ イエス様は、俺たちと違う。どんな臭い、嫌な人でも、イエス様に叫ぶ人を受け入れるんだ！と。

群衆は、イエスのこの言葉に考えさせられたのでしょうか？ 恥いったのでしょうか？ 急に、バルテマイに対する態度が変わったのです。それとも？ 何なんでしょう？

@ すると、バルテマイは、上着を脱ぎ捨て、すぐ、立ち上がって、イエスのところに来た。「上着を脱ぎ捨てて？」盲人のこじきにとって上着は、どうしても必要で大事な持ち物に間違いないでしょう。雨風をしのぎ、寒さもしのげる、自分の体を守るための一番大事なもの。それを脱ぎ捨てて？ エッ、そこに置いたままで〜？ それすら捨ててです。すぐにイエス様のところに行くのに、そんなもんに頼って、持ってたら邪魔になってしかたない。それよりも、何よりも、神イエスに会うこ

と（知ること）が一番大事だと彼は確信していたのです。
@そして、イエスは言われた。「わたしに、何をしてほしいのか？」エッ？ イエス様、あなたはすでに、彼が何をしてほしいか知っているのに、それでも、まだそう尋ねるのですか？ イエスは「バルテマイが、自分イエスは神の救い主と知っていて、そして、自分イエスが彼の目を見えるようにできることを知っている」のですが、イエスは、あえて、バルテマイに、自分の必要と願いをイエスに言ってほしいのです。「先生。目が見えるようになることです。」
@すると、「さあ、行きなさい。（あなたの信仰があなたを癒やしたのです。この部分はまた先のレターで）」すると、すぐさま彼は見えるようになり、イエスの行かれるところについていった。

「さあ行きなさい」「Go your way」あなたの道を行きなさい？ なんかそうじゃあないみたいですよね。

バルテマイは、生まれて初めて、そうですよ！ 生まれて、は・じ・め・て・!! えーーーっ、自分の目で、ものを見たのですよ！ 私には、その時の彼の気持ちが、まったく、想像できません。ま・っ・た・く・新しい世界でしょう!! ほとんど全てにおいて！ 見えるようになってからの、感激、感謝、喜び、嬉しさ、感覚、考え、思い、願い、行動、人との関わり、必要、計画、生きる目的、すーべーてー！がかわるのです。「私が与える、まったく新しい人生を進みなさい！」みたいに言われたのでしょうか？

ちょうど、神の子どもとして新しく生まれた人生を歩むように。そして、彼は、イエスについていったのです。

### 「バルテマイ」もう一度

イエスを知るまで、全ての人は、バルテマイ。それが、私とあなたです。

今、これを書いている私は、泣いています。それは、イエスがこれを書かせてくださったことが嬉しくて、そして、このバルテマイが、私だったことを、あらためてイエスが私の心に、優しく、示してくれたからです。イエス様、ありがとうございます。



## 秋の LIVE Information

いくつかライブがあります。どうぞ、お越しください。お会いできるのを楽しみにしています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 11 月 12 日 | 桃山学院中学校高等学校 | | |
| 11 月 15 日 | 溢愛館 | 愛知県犬山市富岡片洞 1073-97 | 0578-62-5525（金井） |
| 11 月 22 日 | シオンの家キリスト教会 | 大分県由布市庄内町を高岡 1373-3 | |
| 11 月 28 日 | 藤枝市 | | 連絡先　070-5335-5277（見城） |
| 11 月 29 日 | 静岡市 | | 連絡先　070-5335-5277（見城） |

**ザ・デイ　／　森繁　昇**
〒744-0019 山口県下松市桜町 2 丁目17-24
FAX▶ 0833-91-6492
E-mail▶ thewindisblowing@hotmail.com
振替口座▶01330-4-93687　ザ・デイ

**HP ／ thedaywill.com**
**Noboru Morishige**
P.O.BOX 1666
KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A
TEL ▶ 808-966-9252